

## 三田市空家等対策計画（案）に対する市民意見募集 の結果と意見に対する市の考え方について

### 1 実施概要及び結果

- (1) 実施期間：平成30年1月5日(金)から2月5日(月)
- (2) 提出方法：意見書（任意の様式）に住所、名前、電話番号を記入し、持参、郵送、ファクス、eメールのいずれかで提出。
- (3) 閲覧方法：ア まちの再生課（市役所本庁舎5階）での閲覧  
イ 市民情報広場（市役所本庁舎1階）での閲覧  
ウ 各市民センターでの閲覧（市内9カ所）  
エ 市ホームページでの閲覧
- (4) 意見件数：1件（1名）

### 2 意見の概要と市の考え方

#### 【計画案を修正するもの】

- (1) 0件

#### 【提案として、計画推進の参考とするもの】

- (1) 1件（内容は裏面に記載）

【提案として、計画推進の参考とするもの】

| No. | 意見（要旨）  | 市の考え方と対応  |
|-----|---|---|
| 1   | <p>空き家バンクの現状の計画値は据え置き、チャレンジ目標として、大幅増加対策にトライしてはいかがでしょうか。</p> <p>空き家バンクの成約件数アップ策及び物件登録数アップ策の詳細例を提案します。</p> <p>① 理想の住まいを連想させる為のリフォーム・リノベーション・建て替えプランの具体例（予算も含め）や、そこで過ごせるライフスタイルの具体例などを付加価値情報として各物件ページに掲載する。</p> <p>② 空き家物件の最も多い地域、転入数の最大値が狙える購入層にターゲットを明確化することで政策の方向性を統一する。</p> <p>③ 三田市の魅力を「都会に最も近い田舎」として近隣の他市町と差別化。単なる田舎自慢からの脱却。物件毎の魅力が何なのかを整理し、細やかな情報提供を行う。</p> <p>④ 空き家バンクサイトだけでなく、さんだうえるかむサイト、三田PR動画サイト、三田市ホームページトップなどの各ページの閲覧数やネット上での検索ワードなどを考慮して、三田市空き家バンクサイトへの流入数と閲覧数の最大化を図る。</p> <p>また、成約件数や活用の進捗状況などの掲載</p> <p>⑤ 行政、事業者、市民（さんだ住まいるチームメンバー）が連携し活動する。</p> <p>例えば、施工業者や建築士、不動産流通従事者から志のある人を募り、新しい住まいの間取り図やデザインを描いてもらい、空き家バンクの付加価値情報として掲載。</p> | <p>ご意見としていただきました三田市空き家バンク運用強化策は、本市の地域特性の魅力、物件毎のライフスタイルの提案などを具体的かつ強力にアピールする方法などについて詳細な例を挙げてご提案いただいております。</p> <p>ご提案を参考として「三田市に住みたい！」「その物件で暮らしたい！」と言う人をより多く作り、成約数や登録物件の増加に向けて、今後の空き家バンクホームページへの付加価値情報の充実や効果的な運営について、積極的に活かしてまいりたいと考えております。</p> <p>貴重なご提案ありがとうございます。</p> |